# ○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

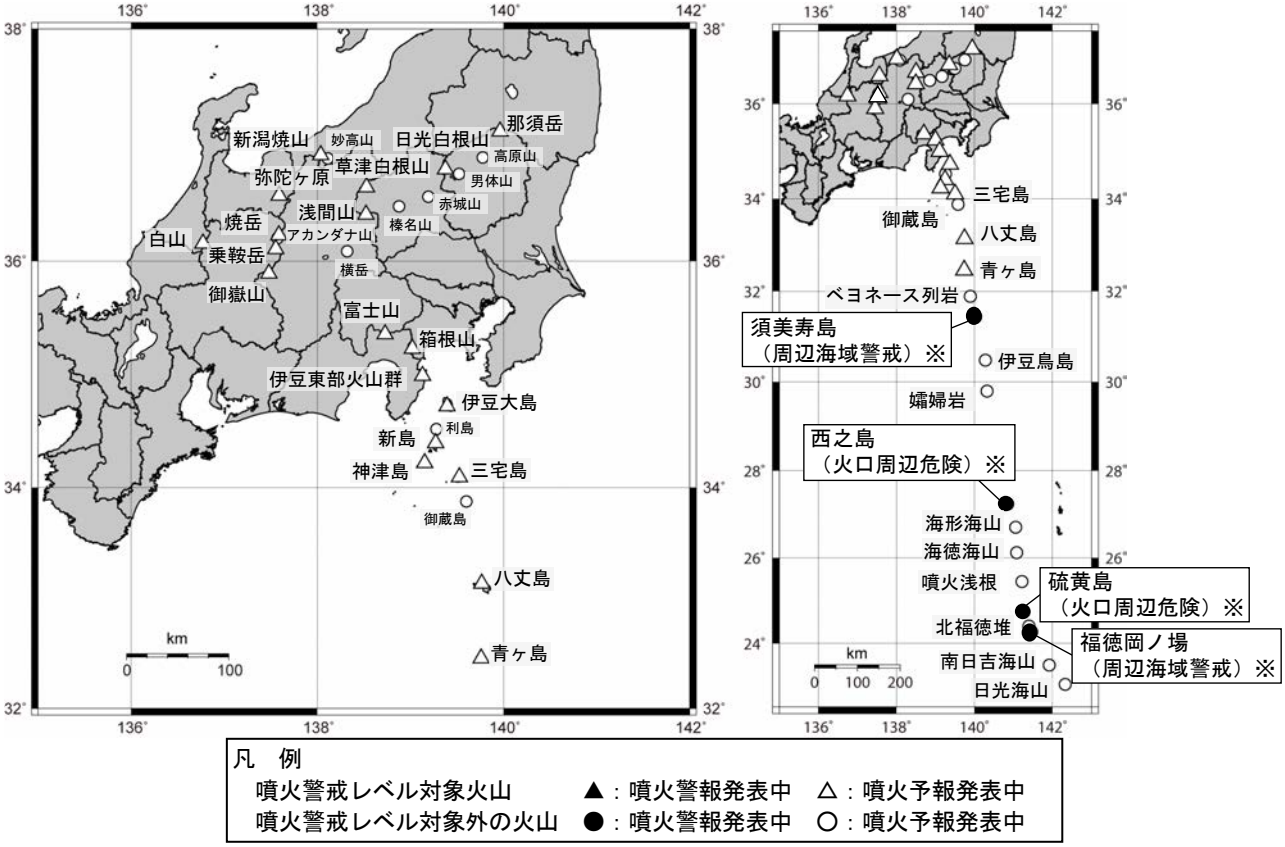
## 管内月間火山概況（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10 月 31 日現在）

| 警報・予報 | 噴火警戒レベル及びキーワード | 該当火山 |
|---|---|---|
| 火口周辺警報 | 火口周辺危険 | 西之島※、硫黄島※ |
| 噴火警報(周辺海域) | 周辺海域警戒 | 須美寿島※、福徳岡ノ場※ |
| 噴火予報 | レベル１（活火山であることに留意） | 那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島 |
| | 活火山であることに留意 | 高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山 |

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。




＊噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

---

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、神奈川県温泉地学研究所、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項（10 月１日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

### 那須岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 日光白根山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 草津白根山（白根山（湯釜付近））［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

湯釜付近を震源とする火山性地震の活動は低調で、浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。一方、近年、湯釜火口への熱水や火山ガスの一時的な供給量の増加に伴うと考えられる地震の増加や傾斜変動などを繰り返していることから、火山活動が急変する可能性もあると考えられます。

湯釜火口から概ね 500ｍの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

### 草津白根山（本白根山）［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018 年１月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 浅間山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

山体浅部を震源とする火山性地震は、９月下旬からやや増加しています。その他の観測データでは、火山活動の高まりを示す変化はみられていません。

山頂火口から 500ｍの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

### 新潟焼山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 弥陀ヶ原［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる膨張を示唆する地殻変動も認められませんが、地獄谷では熱活動が引き続き活発な状態で推移しています。

地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

### 焼岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

山頂付近の微小な地震活動が継続しています。GNSS 連続観測では、山頂付近の緩やかな膨張を示すと考えられる長期的な変化が続いています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

山頂付近の地震活動や地殻変動に加え、焼岳周辺では数年おきに震度１以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられるなど、中長期的には火山活動の高まりがみられますので、引き続き今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

### 乗鞍岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 御嶽山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

地獄谷火口の一部の噴気孔では引き続き勢いよく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

地震活動は低調に経過しており、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。
地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に注意が必要です。
地元自治体等が行う立入規制に従い、また、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

**白山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**富士山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**箱根山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
GNSS 連続観測では、一部の基線でわずかな伸びの変化がみられていましたが、８月頃から停滞しています。
地震活動は低調に経過しており、火山活動は概ね静穏に推移しています。
大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

**伊豆東部火山群［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**伊豆大島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる 1986 年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018 年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されており、火山活動が活発化した場合は噴火に至る可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

**新島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**神津島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**三宅島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
地震活動や噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、山頂火口内の地熱域では温度や放熱率がわずかに高い状態が認められています。中長期的には、山体深部の膨張を示す地殻変動が続いており、引き続き地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。
火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から 500m以内では火山灰等の噴出に警戒が必要です。地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。

**八丈島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**青ヶ島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］**
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**ベヨネース列岩［噴火予報（活火山であることに留意）］←８日に噴火警報（周辺海域）を解除、火山現象に関する海上警報を解除**
ベヨネース列岩（明神礁）付近では、2023 年１月に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水が確認されたことから、噴火警報（周辺海域）を発表しました。その後の観測では、2023 年２月を最後に、変色水、浮遊物等の特異事象は確認されていません。
このことから、ベヨネース列岩の周辺海域に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、８日 11 時 00 分に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。併せて、火山現象に関する海上警報を解除しました。

噴火の兆候はありませんが、引き続き活火山であることに留意してください。

**須美寿島（すみすじま）［噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報］**

今期間、噴火は認められませんでしたが、2024 年７月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

**西之島［火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報］**

2023 年 10 月５日以降、噴火は確認されていません。また、西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域は認められません。

山頂火口内で噴気が確認されていることから、今後も、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね１㎞の範囲では引き続き警戒が必要です。

**硫黄島［火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報］**

翁浜沖で 27 日以降、噴火が確認されています。

長期的には島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

**福徳岡ノ場［噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報］**

2021 年８月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

**上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。**